



「研修便り」は、高知市立学校教職員研修の成果・内容の共有、研究所から発信する情報の周知を目的として、発行していきます。

## 教育課程研修（ミドルリーダー研修）

平成29年6月6日（火）実施

概要

学習指導要領の変遷及び次期学習指導要領改訂に向けての方向性や趣旨等についての理解を深め、各学校における取組の充実を図る。

「これからの学校教育の方向性と教員に求められる資質・能力について」

講師：横浜国立大学 高木 展郎 名誉教授

これからの時代に必要な資質・能力を子どもたちに育むためには何が必要なのだろうか？

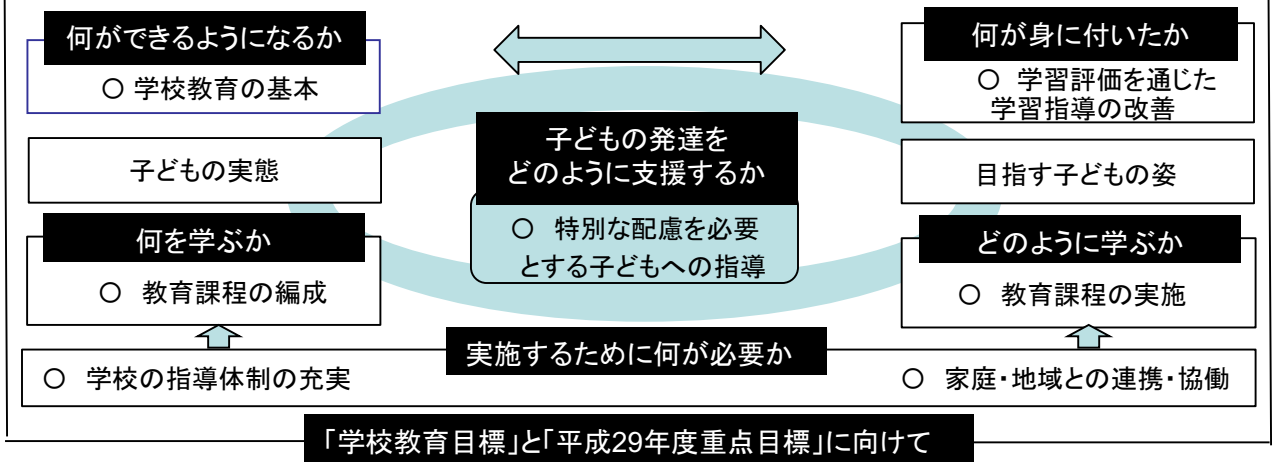


学校教育目標を実現するために、「カリキュラム・マネジメント」の必要性を理解し、日々の授業等に取り組む必要がある。

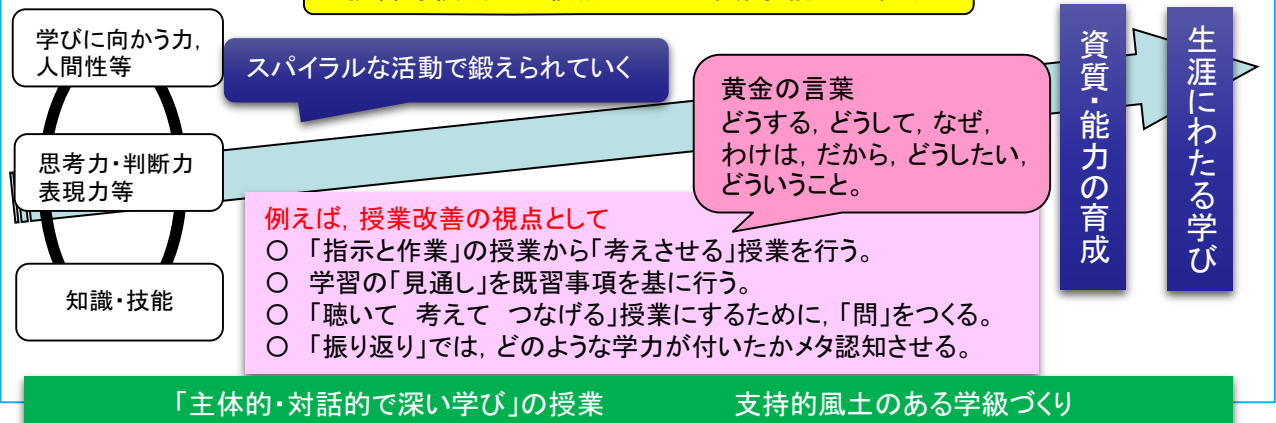
## カリキュラム・マネジメント 資質・能力のグランドデザイン

学校が創意工夫を生かした特色ある教育活動を進めるため、地域や学校の実態等に即し、学校の特色を生かした適切な教育課程を編成・実施するとともに、絶えず評価・改善していくこと

学校のグランドデザインは、教職員全員で作成する



### 教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成



#### 【受講者の感想】

- ・ 今回の学習指導要領改訂により、「社会に開かれた教育課程」となることは、これからの学校の在り方そのものが変わっていくと理解した。また、「学力」といわずに「資質・能力」と使っていくこともこれからの方向性を示すものとして大切なキーワードであると考えている。どの教科でも社会に出てからも使える「汎用的な資質・能力」を育てることを学校で考え合っていきたい。
- ・ 「主体的・対話的で深い学び」を実現していくためには、やはり聴くことを児童に身に付けさせることが大事であり、それをベースとして「どのように学ぶか」という学びの質を重視した授業改善が必要であることを再認識することができた。「学校経営計画」をグランドデザインにどう反映していくか長いスパンで考えていきたい。

## 研修Ⅰ【実践発表】「小学校での情報モラル教育」

発表者：高知市立朝倉小学校 西村 謙伸 教諭

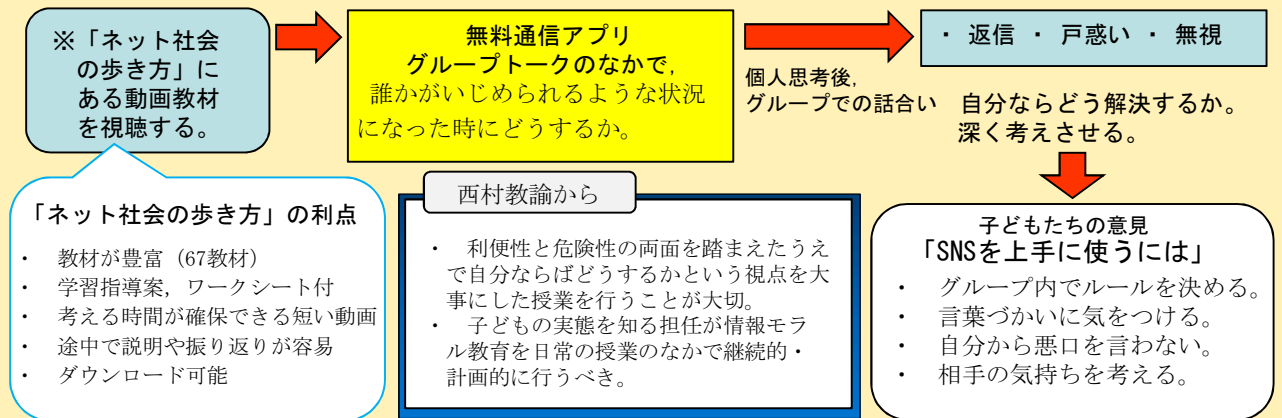
### 1 情報モラル教育をすすめるために

#### (1) 児童の実態把握

- アンケート調査
  - ・ インターネット機器の所持率
  - ・ インターネットの利用目的
  - ・ インターネット機器の使用時間
- 校区中学校と情報交換会を実施
  - ・ 生徒指導担当者との話し合い

#### (2) 実態を踏まえて、指導内容及び教材の検討（5、6年生 各3時間の指導計画を立てる）

### 2 実践事例と教材の紹介（第6学年 総合的な学習の時間の授業事例）




※ 一般財団法人コンピュータ教育開発センターHP内 ネット社会の歩き方 ⇒ [http://www.japet.or.jp ]

## 研修Ⅱ【講義】「情報モラル教育・情報教育の在り方～学習指導要領の改訂を踏まえて～」

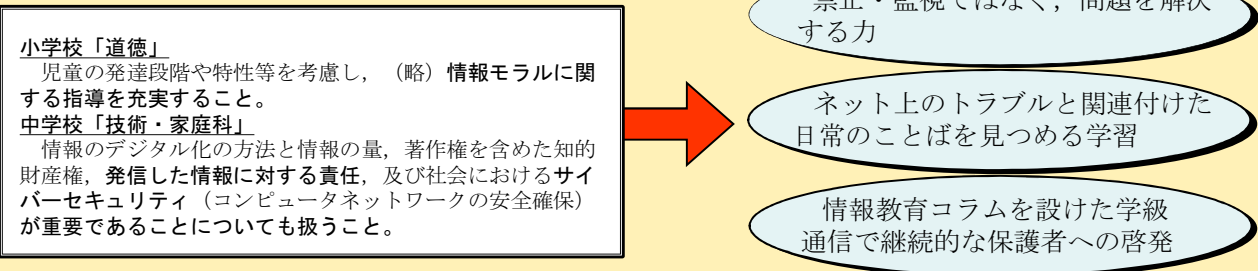
講師：金城学院大学国際情報学部 長谷川 元洋 教授

### 情報モラル教育のキーワード 「出現する未来から学ぶ」

子どもたちの未来を予測する。例えば、今の小学生のスマートフォン所有率でなく、その小学生が中学生になった時の所有率を想定し、情報モラル教育を考えなければならない。



#### 【新学習指導要領から】



子どもたちが的確に判断し、行動できるようになるには・・・  
知識→判断〔自分の行為が自他（社会も含む）に及ぼす影響を想像する力〕→行動

#### 【受講者の感想】

- ・ これから先、インターネット等を児童が使う機会が更に増えるので、児童が実際に問題に出合った際に、自ら考え行動する力を付けていかなければならないことがわかった。
- ・ 問題に対する具体的な対応策を学ぶことができて良かった。新学習指導要領における情報教育・情報モラル教育について詳しく知ることができた。

ご意見・ご感想を高知市教育研究所 教職員研修班までお寄せください。